

(共同リリース)

2018年11月22日
日本航空株式会社
メーファールアン財団
株式会社ミカフェート

バンコク線で新たなコーヒーを提供

日本航空株式会社(所在地:東京都品川区 代表取締役社長 赤坂祐二 以下「JAL」)は、メーファールアン財団(所在地:タイ王国 代表取締役 Dispanadda Disakul)と、株式会社ミカフェート(所在地:東京都港区 代表取締役 社長 川島良彰 以下「ミカフェート」)が共同で開発した「ドイトウンコーヒー」を2018年12月1日よりJALバンコク線の機内にてご提供します。

JALとミカフェートは2011年の提携以降、機内で最高に美味しいコーヒーの提供を目指したサービス「JAL CAFÉ LINES」を通して、さまざまなコーヒーの開発に取り組んでまいりました。

このたび採用した「ドイトウンコーヒー」は、麻薬撲滅の平和的問題解決を目的とした「ドイトウン開発プロジェクト」の一環として、タイ山岳地帯の貧困地域でアヘン生産のために栽培していたケシ畑をコーヒー農園へ転作するプロジェクトを通じて生まれました。ミカフェートが現地でコーヒーの栽培技術指導を行い、タイの貧困問題解決に取り組むメーファールアン財団と共に作り上げた、まろやかでミネラルが感じられる、すっきりとした後味が特徴のコーヒーです。

JALとメーファールアン財団およびミカフェートは、「ドイトウンコーヒー」の機内でのサービスを通じて、「ドイトウン開発プロジェクト」の活動を支援するとともに、機内でお寛ぎのひと時を提供してまいります。



ドイトウンコーヒー農園

**JAL CAFÉ LINES**

■サービス内容

| | | |
|-------|---|--------------------------------|
| 提供開始日 | : | 2018年12月1日出発便より |
| 対象路線 | : | バンコク線(日本発着便) |
| 対象クラス | : | ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス、エコノミークラス |

<メーファールアン財団>

アヘン栽培、人身売買、武器の密輸で生計を立てていたタイ北部のミャンマー国境沿いの少数民族のために新たな雇用を創出し貧困問題を解決する目的で、1969年にプミポン前タイ国王の母であるソムデーッ プラ シーナカリントラー ボーロマラーチャヨンナニー王太后によって創設された非政府組織(NGO)。

<ドイトウン開発プロジェクト>

ゴールドトライアングルと呼ばれた地域で、少数民族の人々がアヘン生産に依存し、森林破壊や貧困問題に苦しむ生活から脱却するために、メーファールアン財団が1988年から取り組んだプロジェクト。再植林とマカダミアナッツ、コーヒー栽培で主に男性の雇用を生み、陶芸、織物、紙漉きの工場を設立し女性たちへの職場を作った。

<ドイトウンコーヒー>

プロジェクト地域に住む6つの少数民族が作ったコーヒー。生産量と品質のさらなる向上のために、2014年にメーファールアン財団がミカフェート代表の川島 良彰に栽培技術指導を依頼した。

国連薬物犯罪事務所(UNODC)は2003年、「ドイトウン開発プロジェクト」を「麻薬撲滅に世界で最も成功した事例の一つ」と認定し、ここで生産される製品に認証をつけています。

以上